

LDSF

2026/6/30

ファーストトラスト・ローデュレーション戦略フォーカスETF

≫ ファンドの目的

当ファンドは、インカムの獲得を目指すとともに、運用資産元本の保全も目標としています。

≫ ファンド概要

ファンドティッカー	LDSF
ISIN	US33740F8703
CUSIP	33740F870
iNAVティッカー	LDSFIV
ファンド設定日	2019/01/03
30日SEC利回り [†]	4.87%
主要取引所	Nasdaq

≫ 手数料および費用

運用報酬	0.10%
取得したファンドの手数料等	0.67%
総経費率	0.77%

≫ ファンド詳細

- 当ファンドは、主にファーストトラストのETFに資産を配分することで運用目標の達成を目指します。また、分散投資効果の獲得や、従来のコア債券ベンチマークと比較して金利変動に対する感応度を低く抑えることを目的に、様々な資産クラスを対象とする他のETFを組み入れる場合もあります。
 - 当ファンドは、加重平均デュレーションを3年以下に維持することを目指しています。
- First Trust Advisors L.P.が当ファンドの投資顧問を務め、ポートフォリオの運用を行います。投資判断は投資委員会によって行われ、同委員会はダイナミックなアプローチを通じてポートフォリオに組み入れるETFを選定します。
- 投資プロセスは、厳格なボトムアップ型のファンダメンタルズに基づく信用分析と、規律あるポートフォリオ構築をバランスよく組み合わせています。リスク管理はプロセス全体において極めて重要な要素であり、ファンダメンタルズに基づく信用分析とポートフォリオ構築の両方に組み込まれています。その内容は以下の通りです。
 - 資本市場のマクロ・政策要因：ファーストトラストの経済チームおよび戦略チームが、資本市場に関する専門的知見を提供します。
 - 資産レベルの分析：ファーストトラストの債券サブ委員会が、ファンダメンタルズに基づく信用分析を行い、各資産タイプに影響を与えるリスク要因を評価します。
 - ポートフォリオの構築と運用：ポートフォリオの目標や制約条件に基づき、ポートフォリオのポジションやリスク分散を分析・検討し、最終的なETFを選定します。
 - 継続的なモニタリングとリスク管理：パフォーマンスの要因分析、ファクター・エクスポージャー、目標に対するリスク状況、ポートフォリオの投資制限、資本市場の前提条件、およびポートフォリオの資産配分について見直し・検討を行います。

≫ パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額 (NAV)	1.07	0.92	4.16	5.35	2.43	—	2.69
市場価格	1.12	0.97	4.10	5.45	2.42	—	2.69
指数パフォーマンス**							
Blended Benchmark	0.79	0.80	3.55	5.50	2.23	—	3.10
Bloomberg 1-5 Year Government/Credit Index	0.38	0.52	3.00	4.68	1.73	—	2.36
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	—	1.85

≫ 年次トータルリターン(%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	年初来
LDSF	—	—	—	—	2.34	-0.33	-5.27	6.60	4.17	6.72	0.92
Blended Benchmark	—	—	—	—	5.17	0.26	-6.60	6.57	4.64	6.59	0.80
Bloomberg 1-5 Year Government/Credit Index	—	—	—	—	4.71	-0.98	-5.49	4.89	3.76	6.10	0.52
Bloomberg US Aggregate Bond Index	—	—	—	—	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62

≫ 3年間の統計

	標準偏差(%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関関係
LDSF	2.75	0.64	1.13	0.26	0.93
Bloomberg 1-5 Year Government/Credit Index	2.28	—	1.00	0.03	1.00

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は www.ftportfolios.jp から確認できます。

[†] 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。手数料の軽減及び費用の払戻しの影響を含みます。

*基準価額 (NAV) リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額 (NAV) に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額 (NAV) リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。この複合ベンチマークは、以下の2つの指数で構成されています。1つ目は「ブルームバーグ1-5年政府・クレジット指数」の80%であり、同指数は残存期間が1年から5年の米ドル建て米国債、政府関連債、および投資適格米国社債のパフォーマンスを測定するものです。2つ目は「ICE BofA米国ハイ・イールド・コンストレイント指数」の20%であり、同指数は米国国内市場で公募された米ドル建ての投資不適格社債のパフォーマンスを追跡しつ、発行体ごとの構成比率を2%に制限するものです。この複合ベンチマークのリターンは、上記の各期間におけるこれら2つの指数の月次リターンを用いて算出されます。各月の初めには、その月の間に生じた比率の乖離を調整するため、2つの指数の構成比率が80対20となるようバランスが行われます。その後、月次リターンを上記の各期間にわたって複利計算することで、当該期間における本複合ベンチマークのパフォーマンスが算出されます。

ファーストトラスト・ローデュレーション戦略フォーカスETF

2026/6/30

» ポートフォリオ情報

保有証券数	9
加重平均実効デュレーション ¹	2.72 年

» 上位保有10銘柄(%)

First Trust Low Duration Opportunities ETF	32.90
First Trust Limited Duration Investment Grade Corporate ETF	29.91
First Trust Tactical High Yield ETF	11.95
First Trust Senior Loan Fund	6.49
First Trust Structured Credit Income Opportunities ETF	4.99
Vanguard Short-Term Bond ETF	4.98
First Trust Emerging Markets Local Currency Bond ETF	3.00
First Trust Enhanced Short Maturity ETF	2.99
First Trust Institutional Preferred Securities and Income ETF	2.49

¹金利変動に対する証券の感応度を示す尺度で、利回りが変化した場合の債券価格の変化を反映します。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、*First Trust Japan*（www.ftportfolios.jp）にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

ごく少数のETFで構成されるファンドには、分散投資の範囲が限られることなど追加的なリスクが伴います。資産担保証券は債務証券の一種であり、一般的に米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされておらず、特に景気後退期には、原資産またはローンのデフォルトリスクにさらされます。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。バンクローンへの投資は、他の債券と同様のリスクを伴いますが、公開情報が限られていることや、ローンの借り手がレバレッジをかけられ、市場や経済状況の変化により悪影響を受ける傾向があるため、リスクが高まる可能性があります。銀行ローンの流通市場は、不規則な取引活動、広範なビッド/アスクスプレッド、および取引決済期間の延長の対象となる可能性があります。

金利低下局面において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での資金運用を余儀なくされ、ファンドの収入が減少する可能性があります。

偶発転換社債（以下「CoCos」）は、特定の状況下で発行者の普通株式への強制的な転換を規定する場合があります。発行者の普通株式は配当を支払わない可能性があるため、これらの商品の投資家は所得率の低下を経験する可能性があります。場合によってはゼロになる可能性があります。そして、転換は投資家の従属を深め、したがって破産の地位を悪化させる可能性があります。

転換社債は、株式証券と債券の両方に関連するリスクにさらされています。転換社債の価値は、原株の市場価値によって上下する場合もあれば、発行体の金利や信用力の変化によって変動する場合もあります。

ファンドは、取引相手その義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な財務的損失が生じる可能性があります。

コベナントライトローンは、従来のローンよりもメンテナンスコベナントが少なく、貸し手が借り手の財務実績を監視し、特定の基準に違反した場合にデフォルトを宣言することを可能にする条件が含まれていない可能性があります。これにより、ファンドが問題を軽減し、そのような投資による損失に対する

債務証券の発行者、またはその他の債務者が配当、利息、および/または元本の支払期日を守れない、または行う意思がない場合、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

信用格付機関が付与する格付は、当該企業の意見であり、信用力の絶対的な基準ではなく、有価証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けを決定するプロセスにおける欠点や非効率性は、ファンドが保有する証券の信用格付けや、その認識または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。イ例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

デフォルトした証券は、デフォルトしていない証券よりも元本が返済されないリスクはるかに高く、ファンドの損失につながる可能性があります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

ディストレスト証券は投機的であり、流動性が低いか、取引量が少ないことが多いため、評価がより困難になり、デフォルトのリスクが大きくなる可能性があります。

I新興国市場の証券への投資は、一般的に投機的であると考えられており、政治、経済、規制の状況に関連する追加のリスクを伴います。

ファンドは他のETFの株式に投資する場合がありますが、これには、原資産ファンドへの直接投資には存在しない追加費用が含まれます。さらに、ファンドの運用パフォーマンスとリスクは、原資産ファンドの運用パフォーマンスとリスクに関連している場合があります。

エクステンション・リスクとは、金利が上昇すると、発行者（またはその他の義務を負う当事者）による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクです。金利の上昇は、債券のデュレーションを長期化する傾向があり、その市場価値は金利変動に対してより敏感になります。

金融サービス企業は、景気後退、為替レート、政府規制、資本の利用可能性の低下、不安定な金利、地理的な市場、業界、または製品へのポートフォリオの集中、およびビジネス分野の新規参入者との競争の悪影響にさらされています。

固定・変動金利証券とは、当初の固定配当率を設定し、当初の期間の満了時に変動配当率に転換する証券です。固定利付証券から変動利付証券は、固定利付証券よりも金利リスクに対する感応度が低い場合がありますが、一般的には、同様の固定利付証券よりも利回りが低くなります。

変動利付証券は、証券のクーポンレートが参照レートの水準に基づいて変動するように構成されています。その結果、変動金利証券のクーポンは、金利が下がると一般的に減少し、ファンドは証券から受け取る収入が減少します。変動金利証券のクーポンレートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。その結果、金利が上昇する環境下では、利率のリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

ハイイールド債、または「ジャンク債」は、格付けの高い証券よりも流動性が低く、市場の変動や損失リスクが大きいため、投機的と考えられています。

ファンドの収益は、金利の低下やポートフォリオにデフォルトが発生した場合に減少する可能性があります。ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレの進行によりファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

金利リスクとは、金利の上昇により、ファンドのポートフォリオ内の債務証券の価値が下がるリスクです。金利リスクは、一般的に短期債務証券の方が低く、長期債務証券の方が高くなります。

次ページにて追加リスクをご覧ください。

ファーストトラスト・ローデュレーション戦略フォーカスETF

2026/6/30

リスクに関する考慮事項（続き）

大規模な資本企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。

ファンドがロンドン銀行間取引金利（LIBOR）を参照金利として使用する変動金利または変動金利の債務に投資する限り、LIBORリスクの影響を受けます。LIBORは参照レートとして利用できなくなりました。また、担保付翌日物調達金利（SOFR）を含む代替参照レートがLIBORと類似、LIBORと同額または経済的同等性を生み出すという保証はありません。LIBORの利用不可または代替された場合、特定のファンド投資価値、流動性、またはリターンに影響を与える可能性があり、ポジションの決済や新規取引の開始に関連した費用が発生する可能性があります。LIBORからの移行がファンドまたはファンドが投資する特定の商品に及ぼす潜在的な影響の予測は難しく、ファンドに損失をもたらす可能性があります。

特定のファンド投資は、転売、店頭取引、または取引量に限定がある場合、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があります、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメイカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

住宅ローン関連の証券は、不動産の価値に影響を与える不利な経済的、政治的、または規制上の事象の影響を受けやすくなります。

非政府発行体が提供する有価証券の支払いについて、政府機関による保証はないため、発行体の信用リスクにさらされます。非政府機関証券は「店頭」で取引されることが多く、市場が限られているため、評価が難しくなる可能性があります。

米国以外の証券発行体は、通貨変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国以外の発行体に影響を与える為替管理の制限など、さらなるリスクにさらされます。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々は運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

優先証券は、普通株式と債券の両方の特性の一部を兼ね備えています。優先株は通常、企業収益に対する優先順位という点で他の債務商品に劣後しているため、それらの債務商品よりも大きな信用リスクにさらされます。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

期限前返済リスクとは、債務証券の発行者が予定された満期日より前に元本を返済するリスクです。前払いを認める債務証券は、ファンドが前払いの収益を低金利で再投資する必要がある場合があるため、金利が下がる期間中の利益の可能性が低くなる可能性があります。

ファンドの取引相手が債務不履行に陥り、ファンドの担保回収が遅延または妨げられた場合、または担保の価値が不十分な場合、ファンドは損失を被る可能性があります。

ファンドは、制限付き証券を短期間で売却できない場合、または現在価値を下回る価格でのみ売却できない場合があります。

ローンを発行する企業はレバレッジが高い傾向にあるため、利息の繰り延べ、債務不履行、および/または破産のリスクの影響を受けやすくなります。ローンは通常、投資適格を下回る格付けですが、格付けされていない場合もあります。その結果、これらのローンに関連するリスクは、ハイイールド債券のリスクと似ています。シニアローン市場では、貸し手の保護が弱いローンが大幅に増加しており、将来の回復価値や取引水準に影響を与える可能性があります。

空売りは特別なリスクを生み出し、その結果として利益または損失の増加とリターンの変動につながる可能性があります。空売りの損失は、空売りされた証券の価値の上昇から発生するため、そのような損失は理論的に無制限です。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

ソブリン債への投資には、債務の返済を管理する政府当局が、期限までに元本や利息を返済する意思がない、または返済できない可能性があるため、特別なリスクが伴います。経済が不確実な時期においては、これらの証券の価格は、社債やその他の政府債務の価格よりも変動する可能性があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

連邦政府機関および米国政府が援護機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

ファンドは、市場全体よりもボラティリティが高い証券に投資する場合があります。発行日未定（以下「未定」）、遅延引渡し、またはフォワード・コミットメント・ベースでの証券の購入は、投資レバレッジを生じさせ、ファンドのボラティリティとデフォルトへのエクスポージャーが高まる可能性があります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したりものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。凸性は、利回りの変化に対する債券のデュレーションの感度を測定します。ブルームバグ米国総合債券指数は、米国債、国債、社債、MBS、ABS、CMBSなど、投資適格のモドル建て固定金利課税債券市場を対象としています。

» Fund Objective

This actively managed exchange-traded fund seeks to generate current income, with a secondary objective of preservation of capital.

» Fund Facts

Fund Ticker	LDSF
ISIN	US33740F8703
CUSIP	33740F870
Intraday NAV	LDSFIV
Fund Inception Date	3/1/19
30-Day SEC Yield†	4.87%
Primary Listing	Nasdaq

» Fees and Expenses

Management Fees	0.10%
Acquired Fund Fees and Expenses	0.67%
Total Expense Ratio	0.77%

» Fund Description

- » The First Trust Low Duration Strategic Focus ETF seeks to accomplish its objectives by allocating primarily among First Trust ETFs, but may also include other ETFs representing various asset classes, aimed to achieve diversification benefits and less interest rate sensitivity when compared to traditional core fixed income benchmarks over time.
 - The fund is expected to maintain a weighted average duration of three years or less.
- » First Trust Advisors L.P. is the advisor to the fund and manages the fund's portfolio. Daily investment decisions are made by an Investment Committee, who select the ETFs included in the portfolio through a dynamic approach.
- » The investment process combines a balance of rigorous bottom-up fundamental credit analysis and disciplined portfolio construction. Risk management is a critical component of the entire process and is embedded in both the fundamental credit analysis and portfolio construction, which includes:
 - **Capital Market Macro/Policy Drivers:** The First Trust Economic Team and First Trust Strategy Team provide capital market expertise.
 - **Asset Level Analysis:** The First Trust Fixed Income Sub-Committee performs fundamental credit analysis and evaluates risk factors impacting each asset type.
 - **Portfolio Construction & Implementation:** Analyze/review portfolio positioning and risk diversification based on portfolio objectives and constraints, final ETF selection.
 - **Continuous Monitoring & Risk Management:** Review performance attribution, factor exposures and risk relative to target, portfolio investment limits, capital market assumptions, and portfolio allocations.

» Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	1.07	0.92	4.16	5.35	2.43	—	2.69
Market Price	1.12	0.97	4.10	5.45	2.42	—	2.69
Index Performance**							
Blended Benchmark	0.79	0.80	3.55	5.50	2.23	—	3.10
Bloomberg 1-5 Year Government/Credit Index	0.38	0.52	3.00	4.68	1.73	—	2.36
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	—	1.85

» Calendar Year Total Returns (%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	YTD
LDSF	—	—	—	—	2.34	-0.33	-5.27	6.60	4.17	6.72	0.92
Blended Benchmark	—	—	—	—	5.17	0.26	-6.60	6.57	4.64	6.59	0.80
Bloomberg 1-5 Year Government/Credit Index	—	—	—	—	4.71	-0.98	-5.49	4.89	3.76	6.10	0.52
Bloomberg US Aggregate Bond Index	—	—	—	—	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62

» 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
LDSF	2.75	0.64	1.13	0.26	0.93
Bloomberg 1-5 Year Government/Credit Index	2.28	—	1.00	0.03	1.00

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period and includes the effects of fee waivers and expense reimbursements.

*NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index. The Blended Benchmark consists of the following two indexes: 80% of the Bloomberg 1-5 Year Government/Credit Index which measures the performance of U.S. dollar-denominated U.S. Treasury bonds, government related bonds and investment grade U.S. corporate bonds that have a maturity between one and five years; and 20% of the ICE BofA US High Yield Constrained Index which tracks the performance of U.S. dollar denominated below investment grade corporate debt publicly issued in the U.S. domestic market but caps issuer exposure at 2%. The Blended Benchmark returns are calculated by using the monthly return of the two indices during each period shown above. At the beginning of each month the two indices are rebalanced to a 80-20 ratio to account for divergence from that ratio that occurred during the course of each month. The monthly returns are then compounded for each period shown above, giving the performance for the Blended Benchmark for each period shown above.

>> Portfolio Information

Number Of Holdings	9
Weighted Average Effective Duration ¹	2.72 Years

>> Top Holdings (%)

First Trust Low Duration Opportunities ETF	32.90
First Trust Limited Duration Investment Grade Corporate ETF	29.91
First Trust Tactical High Yield ETF	11.95
First Trust Senior Loan Fund	6.49
First Trust Structured Credit Income Opportunities ETF	4.99
Vanguard Short-Term Bond ETF	4.98
First Trust Emerging Markets Local Currency Bond ETF	3.00
First Trust Enhanced Short Maturity ETF	2.99
First Trust Institutional Preferred Securities and Income ETF	2.49

¹A measure of a security's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a security's price given a change in yield.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan Co., Ltd. at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

A fund composed of a very small number of ETFs involves additional risk, including limited diversification.

Asset-backed securities are a type of debt security and are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government and are subject to the risk of default on the underlying asset or loan, particularly during periods of economic downturn.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

Investments in bank loans are subject to the same risks as other debt securities, but the risks may be heightened because of limited public information available and because loan borrowers may be leveraged and tend to be more adversely affected by changes in market or economic conditions. The secondary market for bank loans may be subject to irregular trading activity, wide bid/ask spreads and extended trade settlement periods.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

Contingent convertible securities ("CoCos") may provide for mandatory conversion into common stock of the issuer under certain circumstances. Since the common stock of the issuer may not pay a dividend, investors in these instruments could experience a reduced income rate, potentially to zero; and conversion would deepen the subordination of the investor, hence worsening standing in a bankruptcy.

A convertible security is exposed to risks associated with both equity and debt securities. The value of convertibles may rise and fall with the market value of the underlying stock or vary with changes in interest rates and credit quality of the issuer.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Covenant-lite loans contain fewer maintenance covenants than traditional loans and may not include terms that allow the lender to monitor the financial performance of the borrower and declare a default if certain criteria are breached. This may hinder a fund's ability to mitigate problems and increase a fund's exposure to losses on such investments.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

Defaulted securities pose a much greater risk that principal will not be repaid than non-defaulted securities which may result in losses for a fund.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

Distressed securities are speculative and often illiquid or trade in low volumes and thus may be more difficult to value and pose a substantial risk of default.

Investments in emerging market securities are generally considered speculative and involve additional risks relating to political, economic and regulatory conditions.

A fund may invest in the shares of other ETFs, which involves additional expenses that would not be present in a direct investment in the underlying funds. In addition, a fund's investment performance and risks may be related to the investment performance and risks of the underlying funds.

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Financial services companies are subject to the adverse effects of economic recession, currency exchange rates, government regulation, decreases in the availability of capital, volatile interest rates, portfolio concentration in geographic markets, industries or products, and competition from new entrants in their fields of business.

Fixed-to-floating rate securities are securities that have a fixed dividend rate for an initial term that converts to a floating dividend rate upon the expiration of the initial term. While fixed-to-floating rate securities can be less sensitive to interest rate risk than fixed-rate securities they generally carry lower yields than similar fixed-rate securities.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Please see additional risks on the following page.

Risk Considerations (continued)

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

To the extent a fund invests in floating or variable rate obligations that use the London Interbank Offered Rate ("LIBOR") as a reference interest rate, it is subject to LIBOR Risk. LIBOR has ceased to be made available as a reference rate and there is no assurance that any alternative reference rate, including the Secured Overnight Financing Rate ("SOFR"), will be similar to or produce the same value or economic equivalence as LIBOR. The unavailability or replacement of LIBOR may affect the value, liquidity or return on certain fund investments and may result in costs incurred in connection with closing out positions and entering into new trades. Any potential effects of the transition away from LIBOR on a fund or on certain instruments in which a fund invests is difficult to predict and could result in losses to the fund.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Mortgage-related securities are more susceptible to adverse economic, political or regulatory events that affect the value of real estate.

There are no government or agency guarantees of payments in securities offered by non-government issuers, therefore they are subject to the credit risk of the issuer. Non-agency securities often trade "over-the-counter" and there may be a limited market for them making them difficult to value.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

Preferred securities combine some of the characteristics of both common stocks and bonds. Preferred stocks are typically subordinated to other debt instruments in terms of priority to corporate income, and therefore will be subject to greater credit risk than those debt instruments.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

If a fund's counterparty defaults on its obligations and a fund is delayed or prevented from recovering collateral, or if the value of the collateral is insufficient, a fund may realize a loss.

A fund may be unable to sell a restricted security on short notice or only sell them at a price below current value.

Companies that issue loans tend to be highly leveraged and thus are more susceptible to the risks of interest deferral, default and/or bankruptcy. Loans are usually rated below investment grade but may also be unrated. As a result, the risks associated with these loans are similar to the risks of high-yield fixed income instruments. The senior loan market has seen a significant increase in loans with weaker lender protections which may impact recovery values and/or trading levels in the future.

Short selling creates special risks which could result in increased gains or losses and volatility of returns. Because losses on short sales arise from increases in the value of the security sold short, such losses are theoretically unlimited.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Investments in sovereign bonds involve special risks because the governmental authority that controls the repayment of the debt may be unwilling or unable to repay the principal and/or interest when due. In times of economic uncertainty, the prices of these securities may be more volatile than those of corporate debt or other government debt obligations.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

A fund may invest in securities that exhibit more volatility than the market as a whole.

The purchase of securities on a when-issued, TBA ("to be announced"), delayed delivery or forward commitment basis may give rise to investment leverage and increase a fund's volatility and exposure to default.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan Co., Ltd. is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **Bloomberg US Aggregate Bond Index** covers the investment-grade, U.S. dollar-denominated, fixed-rate taxable bond market, including Treasuries, government-related and corporate securities, MBS, ABS, and CMBS.

ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではありません。記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026081701

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp